

知ってほしい、薬と薬剤師の仕事

第4回..世界共通の「薬剤師の使命」

④

皆さんは、「薬剤師の使命」とはどのようなことだと思えますか？ 薬剤師には、「ファーマシューティカルケア」という世界共通の合い言葉があります。これは、「薬剤師の行動の中心に患者さんの利益を据える」という考え方です。30年

近く前、「薬剤師はもっと患者さんの薬物療法に責任を持つべき」ということがアメリカで提唱され、この考え方があつという間に世界中の薬剤師に拡がりました。

薬を販売し、患者さんの手元に渡すことを仕事と考えてきました。しかし、どんなに優れた薬でも、飲みにくかったり、副作用などの不安から服用を中断してしまふと薬の効果が十分に表れず、治療がうまくいかないことも少なくありません

ん。ファーマシューティカルケアでは、治療効果が十分發揮されるよう、薬剤師による患者さんへの継続的なサポートや、必要に応じて主治医と連携し対応することなどが求められます。海外では、この考え方に基づき実践した結果、薬による治療効果が高まったという報告も数多くあります。

しょうか。第1回く第3回でご紹介した「かかりつけ薬剤師・薬局」の役割は、まさに患者さんが医療の恩恵（健康の維持や薬による治療の不安軽減など）を最大限享受できるように、患者さんを中

心に据えた業務を目指しています。少子高齢社会では、継続的な治療を要する慢性疾患患者さんが多くいらっしゃいます。治療を継続することは、患者さん自身だけでなく、ご家族にとっても大変な負担です。薬による治療を中断してしまふと、病状が重症化する場合もあり、さらに大きな負担を招く結果にもなりかねません。患者さんが

地域で暮らしながら納得し、安心して治療を継続できるように応援するのが「かかりつけ薬剤師」の使命と考えます。

かかりつけ薬剤師は、これからも「薬剤師の使命」を追求していきます。

東京都新宿区
四谷3-3-1
日本薬剤師会
<http://www.nichiya.ku.or.jp/>

